

綾瀬発・釜石応援プロジェクト



本会では、東日本大震災の被災地である岩手県釜石市を応援するため、平成23年度2回の「ボランティアバスパック」を実施。平成24年度「綾瀬発・釜石応援プロジェクト」を立ち上げ、平成27年度までに14回の支援を実施、今年度は2回の支援活動を実施してまいりました。

このプロジェクトは、社協の持つネットワークを生かし、賛同いただける市内の団体にお集まりいただき、企画から実施までを一緒に行うものです。

また、市内の事業所の皆様にも御協力をいただき、食材等の御提供をいただきました。

今年度の活動は現地の方々との交流を通して「私たちはあなた方のことを忘れていません」というメッセージを送り続けていくために、4回目となる天神町仮設団地における「第4回釜石&綾瀬夏の交流祭り」とイオンタウンを会場として開催された釜石市社協主催による「ふれあいまつりに協賛し、多くの皆様にクリームうどんをめしあがっていただきました。

プロジェクトメンバー（順不同・敬称略）

綾瀬青年会議所 綾瀬アカデミー 綾瀬市商工会青年部 ブタッコリ〜推進委員会
あやせ災害ボランティアネットワーク 市民活動センターあやせ
(株)タウンニュース社綾瀬編集室

食材等提供（順不同・敬称略）

（第1期協力）

秋本食品（株） エムケーチーズ（株） 綾瀬市地場農産物消費拡大推進協議会
（株）伊藤園 東京キリンビバレッジサービス（株） 大和営業所（株）ラテン大和
ファイアート神奈川（有）青柳商店

（第2期）

秋本食品（株） エムケーチーズ（株）

協力・協賛機関（順不同・敬称略）

釜石市天神町仮設団地自治会・釜石市天神町仮設団地商店街・釜石市社会福祉協議会

第4回 釜石＆綾瀬夏の交流祭り＆鉄の歴史館・橋野鉱山跡見学



また、鉄の歴史館と橋野高炉後を見学し、鉄の街釜石を支えてきた産業と先人の功績を見て回ることができました。

今年も開催!!

第4回 釜石・綾瀬
夏の交流祭り

2016年7月23日(土)16:30~20:00
場所 釜石市天神町仮設団地内

16:30~ 開会
キッズダンス=DANCE CREW いたがったんたら~出演
17:00~ 釜石・綾瀬の幸でBBQ
焼肉 ソーイング 俊野亭 魚料理 豪華メニュー 無料
焼そば ¥100 ジュース ¥50
ホッケー/綾瀬市/ヨコヅナツ ¥10
★★★ 売上 天神仮設団地自治会へ寄付 ★★★

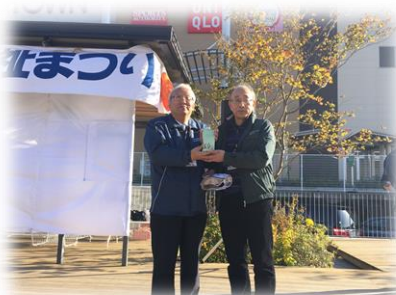
18:30~ Artist Dan Live
19:00~ 花火

SUMMER FESTIVAL : Kamashiki Kids Dance, BBQ / Dan's Live at
July 23 (Sat) 16:30~20:00 at Tenjin Temporary Housing

綾瀬市社会福祉協議会 <綾瀬市・釜石市連携プロジェクト>
釜石市社会福祉協議会 with 天神町仮設商店街・自治会

第2期 平成28年10月28日（金）～30日（日） 参加者25名

第24回釜石市ふれあい福祉まつり・釜石大観音見学



2年ぶりとなる釜石市社協の主催事業である「ふれあい福祉まつり」の協賛を行いました。

釜石で生まれた「クリームシチューうどん」は大好評。その他高座豚手作りハムのウィンナー、キャラメルポップコーン、綿あめとみなさんに大変喜んでいただきました。

今回の売上は、台風被害にあった橋野地区の復興のため全額を釜石市社協の事務局長にお渡しすることが来ました。

秋の恒例となった釜石大観音の見学も参加したボランティアとともに楽しむことができました。



東日本大震災から5年半以上が経ちました。

綾瀬市社協では、震災直後に行ったボランティアバスパックを含め、今年度で16回の釜石訪問を行い、スタッフを含め述べ525名の方々に参加いただき、様々な支援活動を行ってきました。

街の中心部はほぼ震災前の状態に戻りつつあります。しかし、仮設団地は減少しているもののまだまだたくさんあります。復興公営住宅は少しずつ増えてきましたが、新しい自治の形成にとっても苦労していると聞きます。

今回も天神町仮設団地にて交流祭りを行いました。天神町の方々ともすっかりお馴染みになって落ち着いた雰囲気の中で開催できるようになりました。おそらくみなさん気が付いていないと思いますが、最初に開催したときは、列に並ぶこともきちんとできずルール度外視の何とも言えない殺伐とした雰囲気の中、必死にやったような気がします。しかし今ではそんなことを少しも感じないほどみなさん穏やかに参加されていました。

最近恒例となってきたのが朝のラジオ体操を一緒にやること。仮設団地の集会所においてきた荷物を持っていくために朝もう一度天神町仮設団地に立ち寄るのですが、その時ちょうどラジオ体操をみなさんがやっていて、誰ともなくその輪に加わり一緒に体操をしてから現地を立ちます。お祭りもいいですが、こんなちょっとしたひと時に今までやってきて良かったと思える瞬間がありました。

また、釜石市ふれあい福祉まつりでは閉会の時に司会者の方から「復興」という言葉ではなく、「これからも地域のつながり、支え合いを大事に進んでいきましょう」と地域福祉を推進していく社協の役割を強調されていたことがとても印象的でした。長く足を運んできましたが、次のステージに立っているのだなあ実感した瞬間でした。

私たちが忘れてはならないことは「被災地を忘れていない」ということです。

これからもそのことを大事に今できることを行っていきたいと思います。

がんばろう釜石！！

綾瀬市社会福祉協議会

